

## 先週末までのマーケット動向(4月11日~4月15日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,230.0  | 1,238.4  | 1,222.6  | 1,229.6  | +4.5   |
| JPY/KRW | 9.8875   | 9.8955   | 9.7061   | 9.7148   | ▲0.158 |
| KOSPI   | 2,687.54 | 2,720.30 | 2,658.40 | 2,696.06 | ▲4.33  |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。米債利回りの上昇を受け、1,230.0と先週末対比ドル高でオープン。週初は米3月CPIの発表を控えて警戒感が煽る中、中国の3月CPI、PPIが予想を上回るなど世界的なインフレ高進、海外金利の先高観に拍車がかかり、ドル/ウォンは一時約1か月ぶりの水準となる1,238.4ウォンまで上昇した。しかし週半ばにかけ、経済副総理による足元のドル/ウォン相場水準への牽制発言や、米3月CPIをほぼ予想通りで通過したことでドル高が一服。ややサプライズとなったBOKの利上げもドル/ウォン相場への影響は限定的となった。週末はFRB高官による速やかな金融引き締めを支持する発言を受けて再び上昇に転じた後、引けにかけてはイースター休暇を控えて比較的狭いレンジでの推移となり、結局先週末対比4.5ウォン上昇した1,229.6ウォンでクローズした。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは引き続き底堅い展開を予想する。先週半ばに1,230ウォン台後半の水準で経済副総理による足元のドル/ウォン相場水準への牽制発言があったため、1,240ウォンを試す展開とはなりづらくなったドル/ウォンであるが、先週も米金利先高観が煽る中で米債利回りも2.8%台に到達するなど上昇基調を維持しており、底堅い展開が継続しよう。かかる中、国内では3月生産者物価指数、海外ではページブックに加え、足元の米金利上昇を受けて前回対比較調な結果が予想される住宅関連指標の結果に注目致したい。

予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1213 ~ 1238 | 9.58 ~ 9.83 | 125.5 ~ 127.5 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 18日(月) 中 3月 鉱工業生産  
中 3月 小売売上高  
中 1Q GDP
- 19日(火) 日 2月 鉱工業指数 確報値  
米 3月 住宅着工件数
- 20日(水) 日 3月 貿易統計  
米 3月 中古住宅販売件数
- 21日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数  
欧 3月 CPI 確報値  
欧 4月 消費者信頼感指数 一次速報
- 22日(金) 欧 4月 サービス業PMI 速報値  
日 3月 CPI  
米 4月 製造業PMI 速報値  
欧 4月 製造業PMI 速報値  
米 4月 サービス業PMI 速報値